



AMUSE

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年2月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 MAIL amuseir@amuse.co.jp
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	38,445	39.3	2,366	3.2	2,584	13.1	1,399	△21.3
2022年3月期第3四半期	27,593	—	2,293	—	2,284	—	1,778	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,829百万円 (10.7%) 2022年3月期第3四半期 2,555百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	82.73	—
2022年3月期第3四半期	102.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,849	37,898	60.3
2022年3月期	49,313	37,761	71.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 34,871百万円 2022年3月期 35,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	20.00	—		
2023年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	16.1	2,600	△9.7	2,700	△3.6	1,650	5.5	97.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	18,623,520株	2022年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,056,659株	2022年3月期	1,194,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	16,913,213株	2022年3月期3Q	17,428,109株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2023年3月期3Q399,530株、2022年3月期288,160株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期3Q305,447株、2022年3月期3Q288,949株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日公開しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第3四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	27,593	38,445	10,851	39.3
営業利益	2,293	2,366	73	3.2
経常利益	2,284	2,584	300	13.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,778	1,399	△379	△21.3

〔経営成績の分析〕

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、ウイズコロナの下での政府の各種経済政策による効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されました。しかし、世界的な金融引き締めが続いていることによるわが国への影響をはじめ、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視する必要がありました。

このような状況の中、当社グループの経営成績は営業収入384億4千5百万円（前年同四半期比39.3%増）、営業利益23億6千6百万円（前年同四半期比3.2%増）、経常利益25億8千4百万円（前年同四半期比13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億9千9百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーが増加したことに伴いイベント収入が大幅に増加した他、商品売上収入、レーベル収入、印税収入、番組制作収入、映像製作収入、出演収入等が増加したことにより営業収入は増収となりました。営業利益については、営業収入に係る営業原価や販売費及び一般管理費が増加したものの、増収要因により増益となりました。経常利益については、第1四半期連結会計期間より、株式会社MASH A&Rを持分法適用の範囲に含めたことによる「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、「固定資産売却益」の計上はあったものの、「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」の増加等により減益となりました。

＜営業収入＞

- ・ イベント収入が増加
- ・ 商品売上収入が増加
- ・ レーベル収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ 出演収入が増加

＜営業利益＞

営業収入に係る営業原価や販売費及び一般管理費が増加したものの、増収要因により増益となりました。

＜経常利益＞

「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。

＜親会社株主に帰属する四半期純利益＞

「固定資産売却益」の計上はあったものの、「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」の増加等により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	14,304	24,245	9,941	69.5
音楽・映像事業	9,642	10,182	539	5.6
出演・CM事業	3,646	4,017	371	10.2
合計	27,593	38,445	10,851	39.3

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	83	686	602	720.5
音楽・映像事業	1,406	1,320	△86	△6.2
出演・CM事業	803	360	△442	△55.1
調整額	—	—	—	—
合計	2,293	2,366	73	3.2

[イベント関連事業]

営業収入242億4千5百万円（前年同四半期比69.5%増）、セグメント利益6億8千6百万円（前年同四半期比720.5%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

・ イベント収入：＜コンサート＞

桑田佳祐、福山雅治、SEKAI NO OWARI、Perfume、ポルノグラフィティ、宮本浩次、BEGIN、Skoop On Somebody、折坂悠太、神はサイコロを振らない、藤原さくら、DEAN FUJIOKAのコンサートツアー エレファントカシマシのコンサート

＜舞台・公演＞

ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」
芸術花火エンタテインメント「茅ヶ崎サザン芸術花火2022」
地球ゴージャス「クラウディア」
熱海五郎一座「任侠サーカス ～キズナたちの挽歌～」
s*t*k*ing*z「HELLO ROOMIES!!!」
ブルーマングループ ワールドツアー IN JAPAN 2022
若手俳優による「SUPER HANDSOME LIVE 2022」

・ 商品売上収入：コンサートグッズなど

・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

<営業収入>

・ イベント収入の増加

(前年同四半期は桑田佳祐、福山雅治、ポルノグラフィティのコンサートツアー、TEAM NACSによる公演など)

・ 商品売上収入の増加

(前年同四半期は収益認識会計基準等の適用に伴う影響による減収ありましたが、当四半期はイベント増加による関連グッズの増加により増収となりました。)

上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

イベント収入に係る営業原価の増加はあったものの、増収要因により増益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入101億8千2百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益13億2千万円（前年同四半期比6.2%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：桑田佳祐、サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfumeなど
- ・ レーベル収入：福山雅治のオンラインライブBlu-ray&DVD、Saucy Dogのミニアルバムなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：吉高由里子主演ドラマ「最愛」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入が増加
（前年同四半期は福山雅治、BABYMETAL、@onefiveのBlu-ray&DVDなど）
- ・ 印税収入（新譜・旧譜）が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

レーベル収入等に係る営業原価の増加により減益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入40億1千7百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益3億6千万円（前年同四半期比55.1%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、星野源、大泉洋、安田顕、DEAN FUJIOKA、ホラン千秋、仲里依紗、BEGIN、吉高由里子、吉沢亮、三吉彩花、堀田真由、小関裕太、清原果耶、桜田通など

<営業収入>

出演収入及びCM収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

出演収入及びCM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	49,313	57,849	8,536
純資産 (百万円)	37,761	37,898	136
自己資本比率 (%)	71.3	60.3	△11.0
1株当たり純資産 (円)	2,017.09	2,104.89	87.80

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は578億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億3千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動資産「現金及び預金」及び「営業未収入金」、並びに投資その他の資産「投資有価証券」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は199億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億9千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「営業未払金」及び「その他」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は378億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、「自己株式」取得及び配当による「利益剰余金」の減少はありましたが、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上及び「その他有価証券評価差額金」の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は60.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績は概ね予定通り推移しており、2022年11月14日の「2023年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,481	30,726
営業未収入金	4,887	8,817
商品及び製品	1,321	1,262
仕掛品	1,282	1,126
原材料及び貯蔵品	190	164
未収入金	3,271	2,216
その他	1,172	1,116
貸倒引当金	△153	△171
流動資産合計	39,454	45,258
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,821	2,392
土地	996	1,026
その他（純額）	563	800
有形固定資産合計	3,381	4,219
無形固定資産		
その他	431	642
無形固定資産合計	431	642
投資その他の資産		
投資有価証券	4,606	6,678
その他	1,573	1,165
貸倒引当金	△135	△114
投資その他の資産合計	6,045	7,729
固定資産合計	9,858	12,591
資産合計	49,313	57,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	6,707	12,818
未払法人税等	241	418
役員賞与引当金	31	—
従業員株式給付引当金	20	32
その他	2,969	5,004
流動負債合計	9,970	18,272
固定負債		
長期借入金	122	86
役員株式給付引当金	58	74
退職給付に係る負債	1,373	1,459
その他	26	57
固定負債合計	1,581	1,678
負債合計	11,551	19,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,149	31,562
自己株式	△1,249	△2,931
株主資本合計	33,772	32,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	2,094
為替換算調整勘定	13	227
退職給付に係る調整累計額	50	46
その他の包括利益累計額合計	1,382	2,368
非支配株主持分	2,606	3,027
純資産合計	37,761	37,898
負債純資産合計	49,313	57,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収入	27,593	38,445
営業原価	21,488	32,005
営業総利益	6,105	6,440
販売費及び一般管理費	3,811	4,073
営業利益	2,293	2,366
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	12
為替差益	—	9
受取手数料	2	0
補助金収入	9	25
持分法による投資利益	—	169
その他	11	32
営業外収益合計	32	253
営業外費用		
持分法による投資損失	35	—
為替差損	2	—
自己株式取得費用	—	32
その他	5	3
営業外費用合計	42	36
経常利益	2,284	2,584
特別利益		
固定資産売却益	—	281
関係会社清算益	—	3
特別利益合計	—	285
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10
関係会社株式評価損	259	1
関係会社株式売却損	—	141
公演中止損失	—	36
特別損失合計	259	190
税金等調整前四半期純利益	2,025	2,679
法人税、住民税及び事業税	163	652
法人税等調整額	△20	182
法人税等合計	142	835
四半期純利益	1,882	1,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	444
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,778	1,399

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,882	1,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	601	776
為替換算調整勘定	75	213
退職給付に係る調整額	△3	△4
その他の包括利益合計	673	985
四半期包括利益	2,555	2,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,452	2,384
非支配株主に係る四半期包括利益	103	444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	7,148	—	—	7,148	—	7,148
ファンクラブ・商品売上収入	7,155	—	—	7,155	—	7,155
音楽収入	—	5,435	—	5,435	—	5,435
映像収入	—	2,748	—	2,748	—	2,748
その他音楽・映像収入	—	1,458	—	1,458	—	1,458
出演・CM収入	—	—	3,646	3,646	—	3,646
顧客との契約から生じる収益	14,304	9,642	3,646	27,593	—	27,593
外部顧客への営業収入	14,304	9,642	3,646	27,593	—	27,593
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	151	99	25	275	△275	—
計	14,455	9,741	3,672	27,869	△275	27,593
セグメント利益	83	1,406	803	2,293	—	2,293

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	15,549	—	—	15,549	—	15,549
ファンクラブ・商品売上収入	8,696	—	—	8,696	—	8,696
音楽収入	—	5,996	—	5,996	—	5,996
映像収入	—	3,579	—	3,579	—	3,579
その他音楽・映像収入	—	605	—	605	—	605
出演・CM収入	—	—	4,017	4,017	—	4,017
顧客との契約から生じる収益	24,245	10,182	4,017	38,445	—	38,445
外部顧客への営業収入	24,245	10,182	4,017	38,445	—	38,445
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	77	77	0	155	△155	—
計	24,323	10,259	4,018	38,601	△155	38,445
セグメント利益	686	1,320	360	2,366	—	2,366

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。